



私の社会保障論

リハビリに静かな革命

大熊 由紀子

国際医療福祉大大学院教授



一尾籠章裕撮影

めて罪を取り消し、名誉を回復したのでした。

山口市の郊外、トタンぶきの手づくりの建物から始まった「夢のみずうみ村」のデイサービスが、リハビリテーションの静かな革命を起こしています。

ジャンヌ・ダルクとガリレオガリレオがリハビリテーション！
 という英語のとももの意味は「名誉回復」。ジャンヌ・ダルクは火あぶりにされてから25年後、ガリレオは死から350年後、教会が冤罪を認

制度超える逆転の思想

という英語のとももの意味は「名誉回復」。ジャンヌ・ダルクは火あぶりにされてから25年後、ガリレオは死から350年後、教会が冤罪を認

革命の第一は逆転の思想。一日の過ごし方は、スタッフではなく、利用者ご本人が決めます。メニューは200種類もあり、なかでも人気はカシノ。オイチョカブ、マジジャン、ルーレット、トランプ……。勝って喜び、負けて悔しがり、心が動くとも体も動きま

す。「村」の中だけで通じるが、スタッフのワザです。通貨「ユーメ」が賭け金です。料理教室やパン作り、木工は、家族と食べたり、使ったり、プレゼントしたりと絆づくりに発展します。うたた寝気分次第、何もしないというメニューもあります。

革命の第二は「一見不親切」。昼食は大鍋から自分で選んで盛りつけます。「バリアアリー」と称して、坂や階段をわざと設けます。自宅や街で遭遇するバリアーの克服方法をマスターするためです。じっと見守り、どうしてもできないことは素早く助け、ご本人の力を引き出すのが、スタッフのワザです。

「一人では何もできない。でも、まず、一人から始めなければ」「一人の情熱が他を巻き込む」「三日三晩、夢を語りつづけられるくらいの熱心になされること」「制度があるからやろうはダメ。いいものは国が追っかけてくる」

日本の社会保障をホンモノにするエッセンスが、この言葉にまつている、と私は思うのです。

作業療法士



理学療法士及び作業療法士法に基づく国家資格。「身体または精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力または社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行わせることを業とする」と定義づけられている。約4万人が登録。日本では医師の指示の「もとで」働くことされるが、医師と「ともに」働く職種とする国が多い。